

姓を併記するシステム改修の必要性和要望者の有無は。

**答** 女性が活躍できる社会になるように、国の基準に基づいて改修する。現在池田町内に要望者はいない。

## 地方創生特別委員会

**問** 「達人に学べ」における11事業の達成率を含めた事業評価は。

**答** 新事業が8事業あるが、達成率の低い事業もある。新たに達人を発掘して、事業を社会教育課に移管していく。

**問** 「達人に学べ」事業の応募者の町外在住者の割合は。

**答** 参加者の約10%が、揖斐川町、大野町及び岐阜市の在住者です。

**問** 移住体験交流ツアーの実施時期を平成30年2月11日とした経緯は。平成30年度は過ぎやすい時期に計画できないのか。

**答** 新事業として計画したこともあり、レンタサイクルの貸出の多い時期を避けたなどの理由で、平成30年2月11日の実施となった。平成30年度は、「池田町は住みやすい町」を視点に実施時期を検討している。

**問** 地方創生事業「池田まるっと体験ツアー」の事業説明を。

**答** 平成29年度の「池田まるっと体験ツアー」は3回計画し、1回目は7月22日にブルーベリーの収穫体験とラベンダー石鹸作りなどを実施した。2回目は12月16日

**問** フラッグシップモデル事業に伴う組織プロデューサーの進捗状況及び、まちづく活性化への提案はあるのか。

**答** プロデューサーは、毎月1回来町している。商工会や霞溪舎のまちづくり工房運営委員会が、まちづくりの悩みを相談しているが、活性化への提案までには至っていない。

**問** イルミネーションは、池野駅以外の2駅も実施するのか。

**答** 北池野駅と美濃本郷駅のイルミネーションは、町で実施する。

にバームクーヘンのデコレーション体験やピザ作り等を計画し、3回目は平成30年の3月に予定している。

## 養老鉄道存続特別委員会

養老線の事業形態の移行等について、平成29年9月以降から平成30年1月まで

の経過と今後のスケジュールや鉄道事業再構築実施計画の概要などの資料に従って説明を受けた。

**問** 枕木オーナー制度の内容は。

**答** 沿線市町の皆さんに、養老鉄道に愛着を持って頂きたい事から寄付を募り、老朽化した枕木の交換に合わせ各駅のホームから見える場所の枕木に、寄付者のプレートを入れる計画です。

**問** 老朽化した枕木は、コンクリート製に交換できないのか。

**答** 枕木の製品については、単価の事もありますが管理機構で決定する。

**問** 養老線管理機構の10年収支予測の支出合計額が、約9千万円増えた要因は。

**答** 車両更新に伴い、整備費や減価償却費などの増加によるもの。

**問** 免許自主返納者への利用奨励施策の具体案はあるのか。

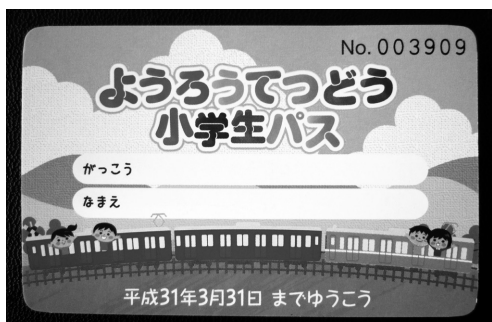
か。

**答** 池田町では、運転免許を返納された方に、21枚綴りの乗車券を2年間に4回交付している。

神戸町や沿線市町でも、同様に養老鉄道の利用促進を図っていく計画がある。

※「養老線地域交通再生協議会」は、養老線が公有民営方式に移行した事を記念して、沿線7市町の現在の1年生と4月からの新1年生に、来年3月末まで使用できる無料バスを贈る。

(町内の対象となる児童数は1年生223人 新1年生248人)



無料バス